

# 大学フォーラム

大学の危機をのりこえ、明日を拓くために

大学の特性、個性、自主性の  
ゆくえ

2019.2.27.  
朝日新聞第3面



甲南大学文学部教授  
井野瀬久美恵

2019.3.31. @明治大学GH

# 自己紹介にかえて

『大英帝国はミュージックホールから』朝日新聞社、1990年

『子どもたちの大英帝国』中公新書、1992年

（文庫版タイトル『フリーガンと呼ばれた少年たち』1999年）

『黒人王、白人王に謁見す』山川出版社、1993年

『女たちの大英帝国』講談社現代新書、1998年

『植民地経験のゆくえ——アリス・グリーンのスロンと世紀転換期の大英帝国』人文書院、2004年

『大英帝国という経験』（興亡の世界史・第16巻）講談社、2007年；講談社学術文庫、2017年

井野瀬久美恵編『イギリス文化史入門』昭和堂、1993年

井野瀬久美恵編『イギリス文化史』昭和堂、2010年

栗本英世・井野瀬久美恵編『植民地経験のゆくえ』人文書院、1999年

北川勝彦・井野瀬久美恵編『アフリカと帝国——コロニアリズムの新地平』晃洋書房、2011年

「民衆感情と戦争——イギリスにおける『戦争熱』再考」『第一次世界大戦開戦原因の再検討』岩波書店、2014年      他多数

井野瀬久美恵（監訳・解題） バーバラ・チェイス＝リボウ『ホッテントット・ヴィーナス』法政大学出版会、2012年

この国の「大学のゆくえ」を考える素材

(2014年10月～2017年9月の学術会議副会長経験)

## ①学術と安全保障に関する検討委員会(2016.5.～2017.9.)

「軍事的安全保障研究に関する声明」(2017年3月24日)

「報告 軍事的安全保障研究について」(2017年4月13日)

→「学問の自由」と「大学の自治」のゆくえ

**憲法23条 「学問の自由は、これを保障する」の歴史的意味の低下？**

「平等」「自立」「自由」のきわめて政治的であった意味は、これらの用語の経済的なヴェイレンスにとってかわられ、人民主権の卓越した価値は減退し、それとともに、専門技術や市場の評価基準、ベストプラクティスによるガバナンスが、わたしたちがだれか、何であるか、あるいは何になるべきか、人民としてわたしたちが何をすべきで何をすべきでないかといった問いをめぐる、正義を枠組みとする論争にとってかわった。民主主義は技術的に熟練した人的資本を必要としているのであって、教育を受けた、公共生活と共同統治の参加者は必要ではないと考えられるようになっていく。(ウェンディ・ブラウン(中井亜佐子訳)『いかに民主主義は失われていくのか』みすず書房、2017年、202頁)

## ②人文・社会科学の役割とその振興に関する分科会

(「6.8通知」対応として、2015.8～2017.9)

「学術の総合的发展をめざして——人文・社会科学からの提言」

(2017年6月1日公表)

「6.8通知に」 滲む「文系不要論」 / 「社会に役立つ」の一元化  
市場価値に合わせた評価基準・指標が人文・社会科学の立てつけ  
になっていない / 資本投下に見合った成果を求める高等教育  
ROI (投資対効果) オバマ政権下の大学評価指標(2008～)

## ③総合ジェンダー分科会(2015.8月設置、現在に至る)

GEAHSS(人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会、2017  
年5月設立、現在加盟72団体) と共同でのgender-conscious data  
の収集

(有期雇用の増加・常勤ポストの減少の文系実態・  
学問の質への影響)



1971年 46答申（1986年を目標年度とする高等教育計画）  
量から質へ——大学設置基準・設置認可での質保証

1980年 29.5% → 2015年 10.1%  
（経常費に占める私学助成金の割合）

1987年 大学審議会設置  
高度化・個性化・活性化

1991年 大学設置基準の大綱化・大学院重点化  
国の設置基準・設置認可による質保証→個々の大学に任せる

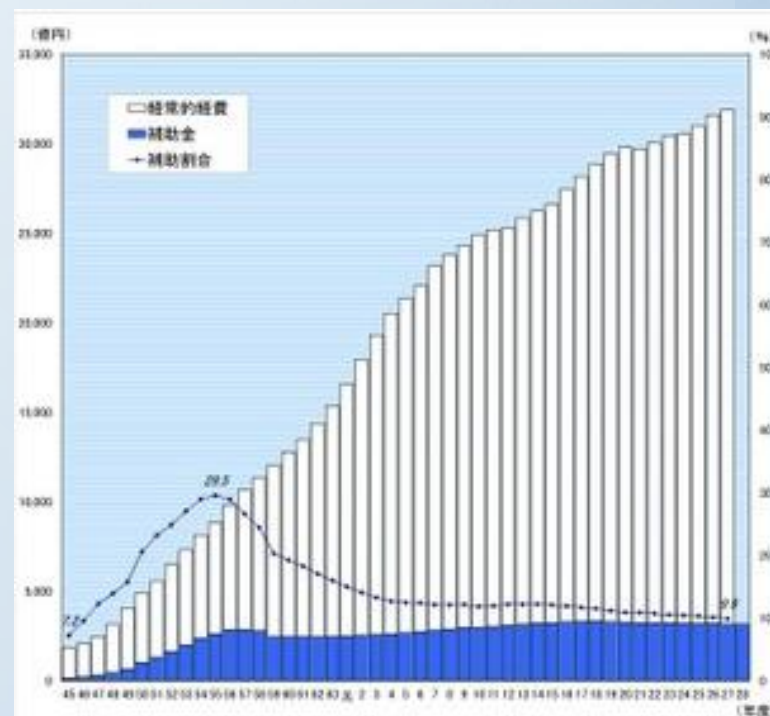
事前規制

事後チェック

## 18歳人口の推移と将来推計

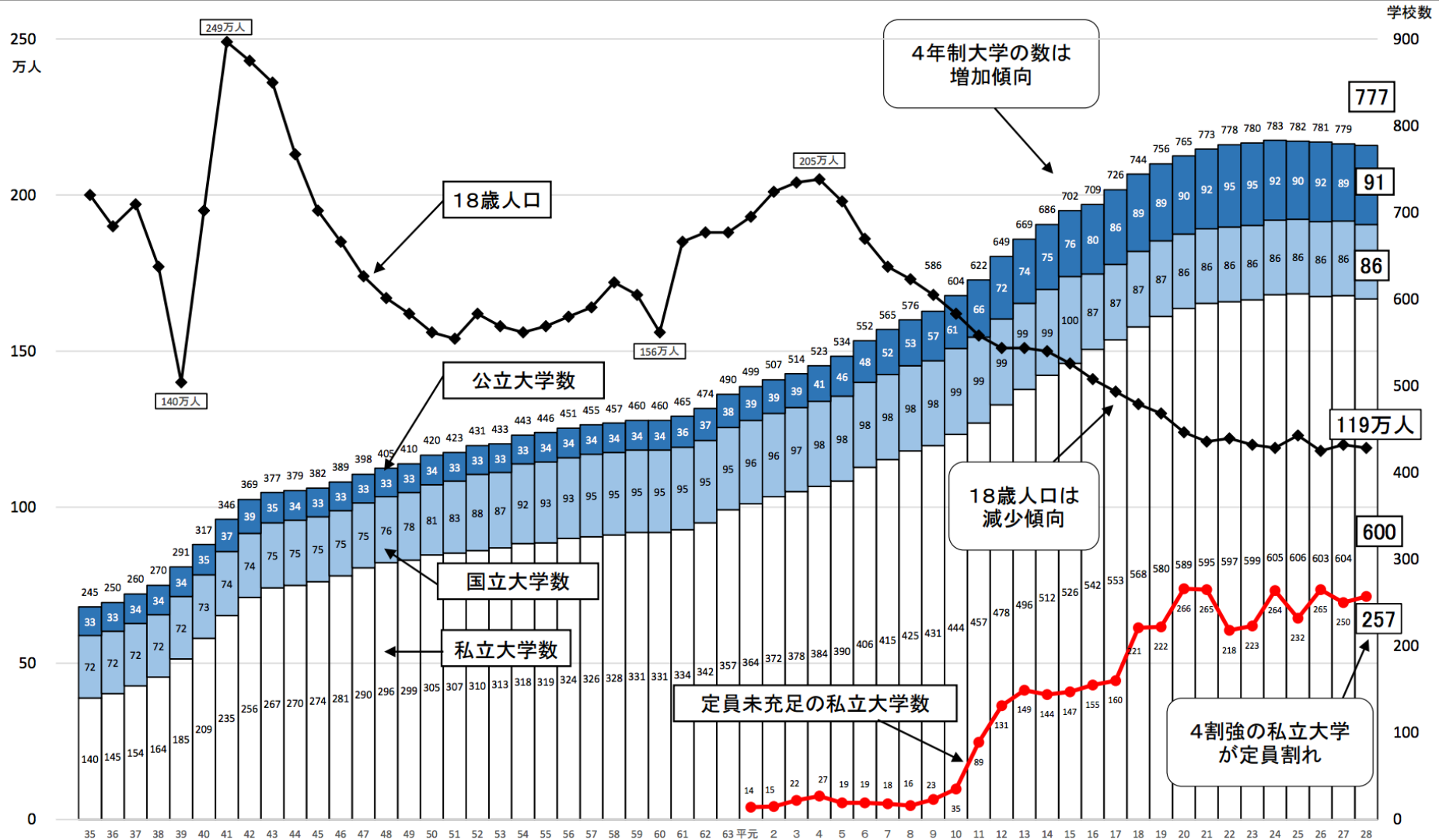


2010年までは文科省の資料、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計から



# 日本の人口推移と大学数の推移

○少子化で18歳人口が減少する中、私立大学数の増加で大学数が増加。この結果、直近では4割強の私立大学が定員割れ。



(備考)文部科学省「学校基本統計」、日本私立学校振興・共済事業団「平成28年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」より作成。

1996年 ポスドク1万人計画、大学自己点検・評価  
 2000年 大学評価・学位授与機構設立 大学の自主性・自律性  
 2002年 21世紀COEプログラム

cf 2014年 スーパーグローバル大学創成支援事業

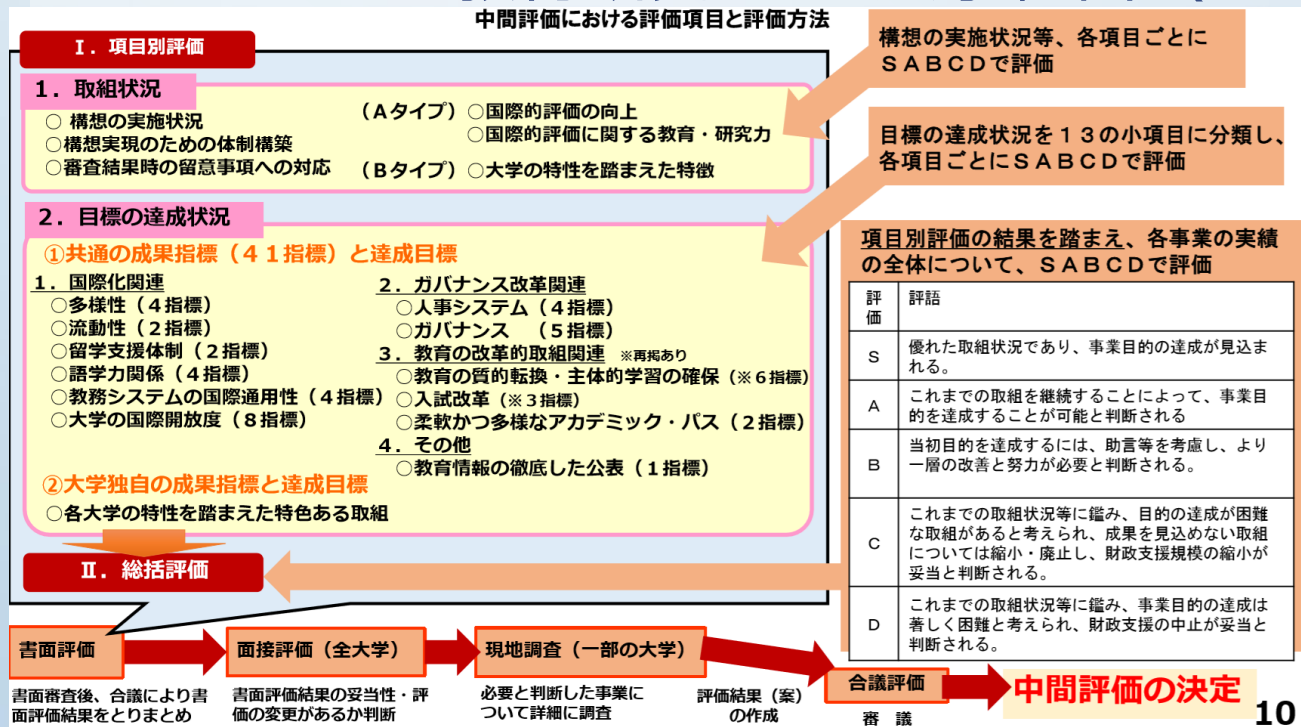
**41の「共通の成果指標」、大学独自の成果指標・達成目標**

「大学の特性を踏まえた特色ある取組」、数値化、毎年進捗状況の報告

2004年 国立大学法人化・認証評価制度導入、私立学校法改正

競争的教育改革支援・補助金・傾斜配分

2005年 大学の将来像（答申）機能別分化という「行政誘導」  
 教育研究 → 大学経営（そのための「質保証」）



各大学が各々、自主的に定義するのではなく、具体的項目が例示、リードされていて記入する

### 3 高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化

新時代の高等教育は、全体として多様化して学習者の様々な需要に的確に対応するため、大学・短期大学、高等専門学校、専門学校が各学校種ごとにそれぞれの位置付けや期待される役割・機能を十分に踏まえた教育や研究を展開するとともに、各学校種においては、個々の学校が個性・特色を一層明確にしていかなければならない。

特に大学は、全体として

- ①世界的研究・教育拠点、②高度専門職業人養成、③幅広い職業人養成、
- ④総合的教養教育、⑤特定の専門的分野(芸術、体育等)の教育・研究、
- ⑥地域の生涯学習機会の拠点、⑦社会貢献機能(地域貢献、産学官連携、国際交流等)

等の各種の機能を併有するが、各大学ごとの選択により、保有する機能や比重の置き方は異なる。その比重の置き方が各機関の個性・特色の表れとなり、各大学は緩やかに機能別に分化していくものと考えられる。(例えば、大学院に重点を置く大学やリベラル・アーツ・カレッジ型大学等)

18歳人口が約120万人規模で推移する時期にあって、各大学は教育・研究組織としての経営戦略を明確化していく必要がある。

#### (1) 各高等教育機関の個性・特色の明確化

- 戦後の我が国における高等教育の急速な拡大により、量的側面での「ユニバーサル段階の高等教育」は実現しつつある。しかし、人的物的資源が必ずしも十分でないままでの急拡大が質的充実を伴ってきたと言いき難い。また、18歳人口が約120万人規模で推移する中では、個性に乏しい数多くの高等教育機関が単一の市場(18～21歳の日本人フルタイム学生、すなわち「伝統的学生」の獲得)を巡って競争するという状況は、社会全体としての効率性に欠ける面が大きい。新時代の高等教育には、全体として多様化するとともに、学習者の様々な需要に的確に対応(複数の市場を開拓)して個々の高等教育機関が自らの資源を重点的に投入し質的な向上を図ることによって、真の「ユニバーサル・アクセス」(本章2(1)(ア)参照)を実現することが求められている。

「我が国の高等教育の将来像(答申)」 (2005年1月28日)

G型大学  
L型大学

2012年

国立大学ミッションの再定義——評価目標(測定可能なKPI)の設定・評価・資金配分

2013年

私大等改革総合支援事業

→どの取組を選択するか  
の余地はほとんどない...



＜国立大学＞

重点支援① ← 5 5 大学

地域のニーズに応える人材育成・研究を推進

重点支援② ← 15大学

分野毎の優れた教育研究拠点やネットワークの形成を推進

重点支援③ ← 16大学

世界トップ大学と伍して卓越した教育研究を推進

<私立大学>

私学助成に5つのタイプを設定し、各タイプに対応した改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援（平成25年度から）

【地方創生人材の育成、地域社会貢献等に関する取り組み（私立）】

タイプ1 教育の質的転換 ← 362校

タイプ2 地域発展 ← 167校

タイプ3 産業界・他大学等との連携 ← 80校

タイプ4 グローバリゼ化 ← 81校

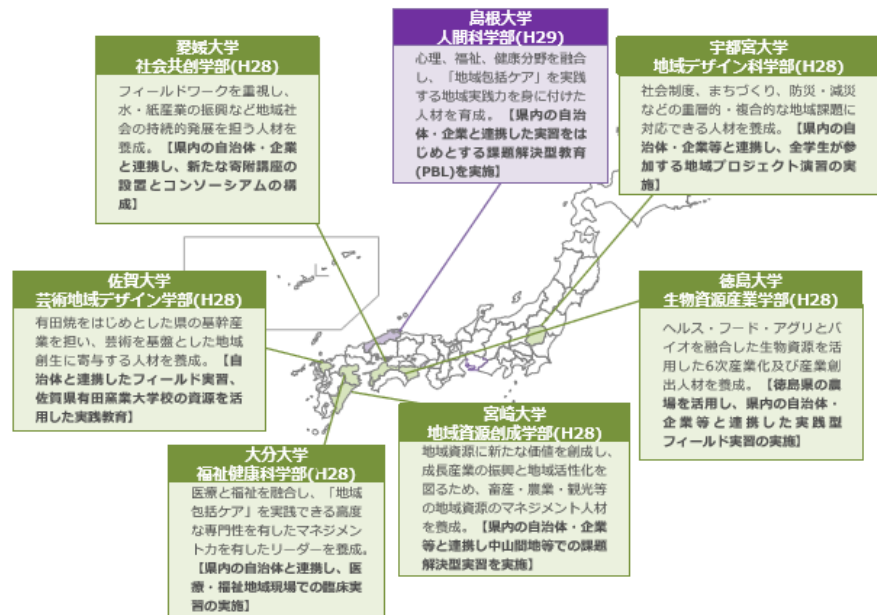
タイプ5 プラットフォーム形成  
←平成28年度は選定無し

※平成28年度選定校数 合計690校は延べ数（実数は457大学）

※選定校は大学、短大及び高専の数

「我が国の高等教育の将来像【答申】(平成17年1月28日)」後の状況(文部科学省、2017年7月)

出典：日本私立大学団体連合会「明日を拓く 私立大学の  
多様で特色ある取り組み」等を参考に文部科学省作成



広島修道大学（広島県）  
「地域イノベーション人材」の育成を  
目指す「ひろしま未来協創プロジェクト」を実施。広島県内各地に、地域と  
教職員・学生の連携・協同を促すための  
交流拠点（地域協創スタジオ：ちい  
スタ）を設置。

羽衣国際大学（大阪府）  
京都・大阪・和歌山の市区  
町と連携し、商店街活性化  
事業、地元特産物を使った  
レシピの開発・販売による  
観光客誘致などの過疎化対  
策支援、学生による地域の  
食育活動を実施。

日本文理大学（大分県）  
「おおいた地域創成人材の育成」を掲  
げ、地域創生に必要なスキル育成のため  
の学部共同型「地域づくり副専攻」の開  
設や、地域志向プロジェクト研究の実施  
等、教育・研究両面で地域に貢献。

鹿児島国際大学（鹿児島県）  
地元の南大隅町や垂水市と連携協定を締結。地元企業での学生のフィールドワークによる地元企業への就業促進や、「地域づくり」をテーマにした町からの委託研究等を実施。

静岡産業大学（静岡県）  
自治体や産業界から様々なプロジェクトを受け入れ、実践的科目として立ち上げ。決型スタディを通じて学びを深め、地域社会に貢献できる人材・リーダーの育成を目指す。

北海学園大学（北海道）  
UR都市機構と包括協定を結び、UR賃貸住宅団地及びその周辺地域における少子化・高齢化などの諸課題に対応する取組みを協働実施。団地のミクストコミュニティ（多様な階層が共棲する社会）としての再生を目指す。

石巻専修大学（宮城県）被災地復興に向けたボランティア活動の拠点となった。被災者支援のためのアーカイブ館、小中高校と連携した復興

松本大学（長野県）  
大学と地方自治体、地元企業が「連携し、「ひとづくり」「まちづくり」「健康づくり」という地域課題を解決するため、「地域づくりコーディネーター」の養成・認定や、学生や地域の人々が出入りして交流・相談を行う「地域づくりお茶屋「ゆめ」」を設立。

女子栄養大学（埼玉県）  
埼玉県板戸市と、市民の健康づくりに関する連携  
協力協定書を締結し、市や小中学校、民間ボラン  
ティア団体と協力し、市民の食生活の改善のため  
のきめ細かい栄養指導を展開。年間約10億円の  
医療介護費削減を達成。

長浜バイオ大学（滋賀県）  
滋賀県・長浜市が設けた特区（サイエンスパーク）内に立地。バイオ教育研究の中核機関であるとともに、複数企業が隣接しバイオクラスターを形成。インキュベーションセンターを設置、実用化研究、ベンチャー企業への支援など産学官が連携した実学教育を実現。

# 大学がパターン化、平板化し、そのなかで自主性、自律性を失ってきた現実とその影響は、世間ではほとんど知られていない。

機能別分化の枠組み(イメージ例)

| 機能別分化の枠組み                                        | 教育                                                                                        | 研究                          | 連携の姿                                      |
|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------|
| ①世界的研究・教育拠点                                      | ・大学院中心<br>(学部から博士の一貫した教育)<br>・高い専門性とともに、俯瞰力や<br>独創力を備えた我が国と世界を<br>牽引する人材の育成               | ・世界的な水準の研究                  | 「世界的研究・教育拠点」同<br>士で連携                     |
| ②高度な教養と専門性を備え<br>た先進的な人材を養成する大<br>学              | ・学部～修士・専門職大学院<br>段階の教育が中心<br>(学部ではリベラルアーツ中心の<br>教育も想定)<br>・各専門分野において高い価値<br>の創出を先導する人材の育成 | ・各分野を先導する研究                 | 国際展開を見据え、他の大<br>学と連携                      |
| ③具体的職業やスキルを意識<br>した教育を行い、高い実務能力<br>を備えた人材を養成する大学 | ・学部段階の教育が中心<br>・地域の産業活性化や個別の<br>ニーズにきめ細やかに対応でき<br>る高い実務能力を備えた人材の<br>育成                    | ・地域の課題など個々の<br>ニーズに丁寧に応える研究 | 幅広いカリキュラムの提供<br>や経営機能確保のため連携<br>(特に小規模大学) |

※ 将来構想部会に提出された資料を基に作成

安倍晋三首相は首相官邸で開いた政府の総合科学技術・イノベーション会議で、国立大学の運営費交付金のうち、大学改革の進展に応じて傾斜配分する評価枠を2019年度から1,000億円に増額するとともに、国立大学教員の年俸制完全導入を促す方針を明らかにした。

(大学ジャーナルOnline, 2018.12.26.)



# 基幹経費の組替えと傾斜配分のための5つの評価指標

会計マネジメント改革

教員一人当たりの外部  
資金獲得実績

重点支援①②③の  
共通指標

重点支援③研究力

運営費交付金等コストあたり  
トップ10%論文数

若手研究者比率

人事給与・施設マネ  
ジメント改革

## 第3期認証評価における内部質保証(2019年2月)

内部質保証とは、PDCAサイクル等を適切に機能させることによって、質の向上を図り、教育、学習等が適切な水準にあることを大学自らの責任で説明し照明していく学内の恒常的・経済的プロセスのこと

# 科学技術・学術審議会学術分科会配布資料 高等教育・研究改革イニシアティブ

（柴山イニシアティブー高等教育機関における教育・研究改革の  
一体的推進）

## 改革の方向性

高等教育機関へのアクセスの確保

大学教育の質保証・向上

研究力向上

教育研究基盤・ガバナンス強化

手厚い支援 ⇔ 厳格な評価 の徹底

つぶやき

指標が人文・社会科学系の立てつけになっていない・・・

共同研究を促す立てつけになっていない・・・



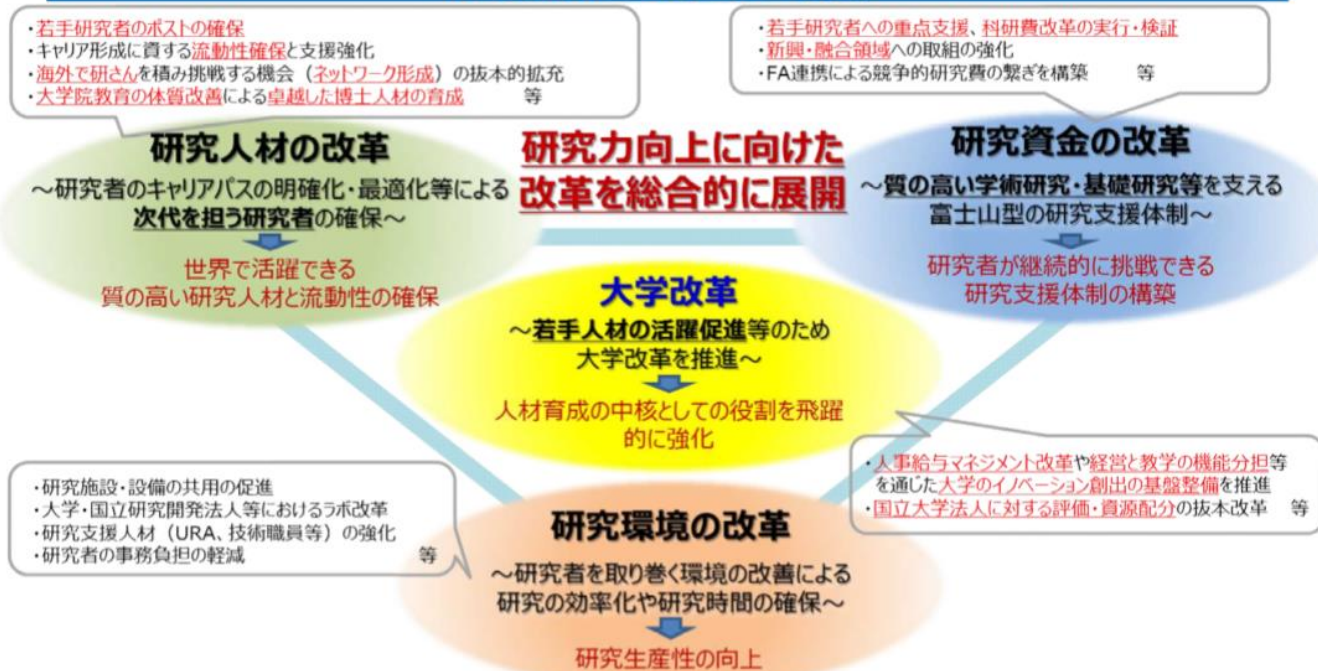
# 文部科学省科学技術・学術会議審議会総合政策特別委員会「新時代・新世代の科学技術システム」ビジョン 論点とりまとめ（2019.1.31.）

## 研究力向上に向けたシステム改革

研究力向上に向けた主要3要素の「研究人材」「研究資金」「研究環境」の改革を、現行課題や諸外国の取組も勘案し、未来を見据えた中長期的視点も入れ「大学改革」と一体的に検討する。

その際、各施策が全体としてしっかり機能するか、現場の自由度や柔軟性、動機にも十分留意する。

### 大学改革と一体となった科学技術イノベーションシステム改革の加速 － 改革加速の方向性（案）－



(1) 有期雇用・任期付き・常勤ポスト削減

→ 学生の研究離れ + ~~研究者という選択肢~~  
大学という場への敬意欠如

(2) 経営のための改革 = 管理業務の増加 / 評価疲れ

→ トップダウン → 教職員の無力感・「何か言うとややこしくなる」

(3) 学生と向き合う時間不足 = **教育の役割の変化**を示す

民主主義や社会改善につながるよう、「自分たちがかかわる権力や問題を理解するためのツールを供給するのが、高等教育の重要な前提であった。」

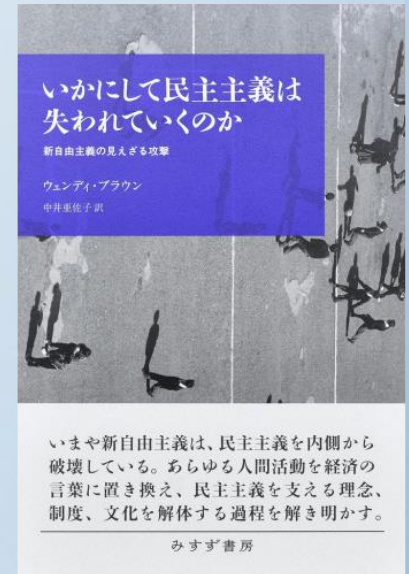
→ 「**人的資本**の開発に役立つもの」へ。「人的資本とは、個人、ビジネス界、国家が競争力を最大化するために向上させようと努めるものである。」(ブラウン、201頁)

= 「**産業競争力の強化に資するイノベーションの創出**」

パターン化される大学の個性、特性、方便として使われる大学の自主性

→ 「新自由主義的合理性は、自由と自立性の意味を妨害されない市場行動に還元し、また市民性の意味をたんなる選挙権に還元する。」

(205頁)



# 大学基準協会のFD講演会より

## 内部質保証に関する提言

長所：3.7%(1校)      改善課題：44.4%  
是正勧告：22.2%

## 内部質保証においてよく見られた事例

### ○内部質保証体制

内部質保証＝自己点検・評価という誤解

### ○内部質保証システムの有効性

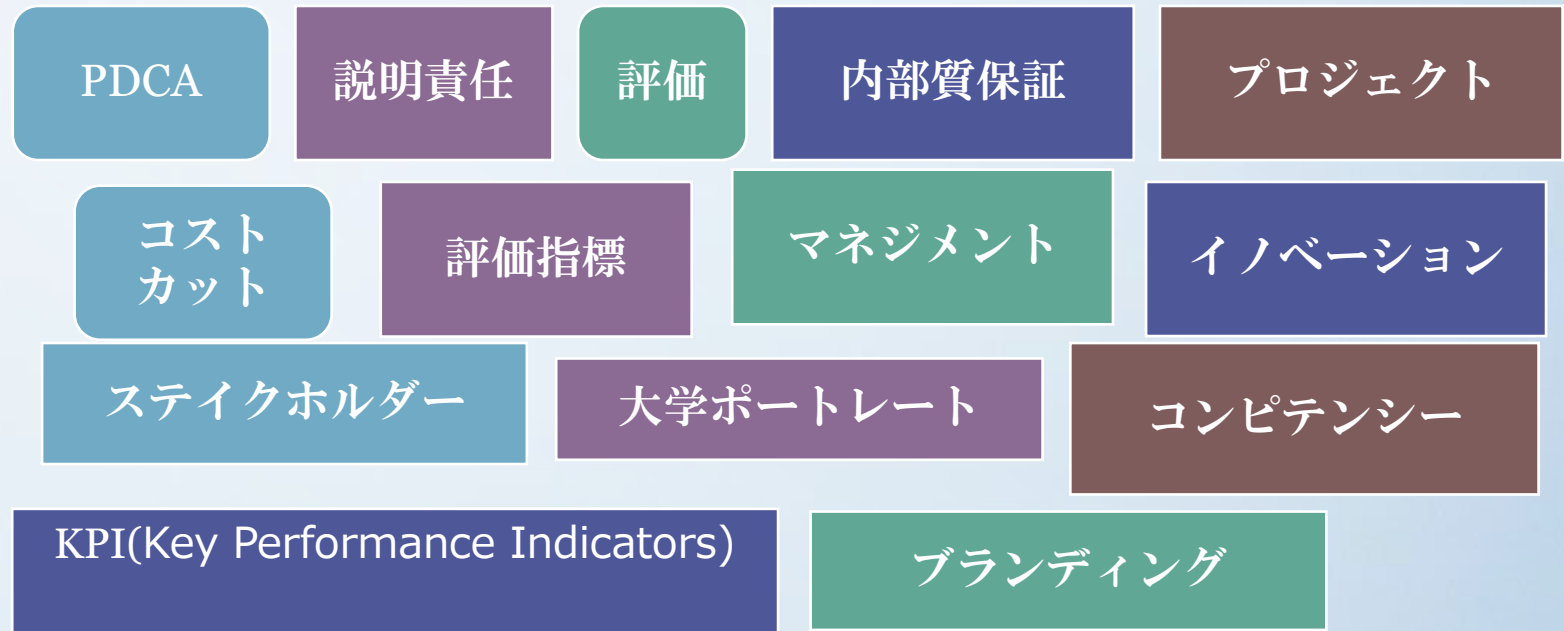
**教学マネジメント**の仕組みが整備されていない

整備するポイントとしても、適切な教学マネジメントを行うための組織整備であること

# 「経営改革」による大学の個性・特性の画一化・パターン化

→ 教育研究現場との齟齬・違和感

→ 自主性、自律性の介入余地 ⇔ 示された施策を実現する方法論  
(誰が方針、施策を決めているのか?)



## 教育研究現場との齟齬・違和感

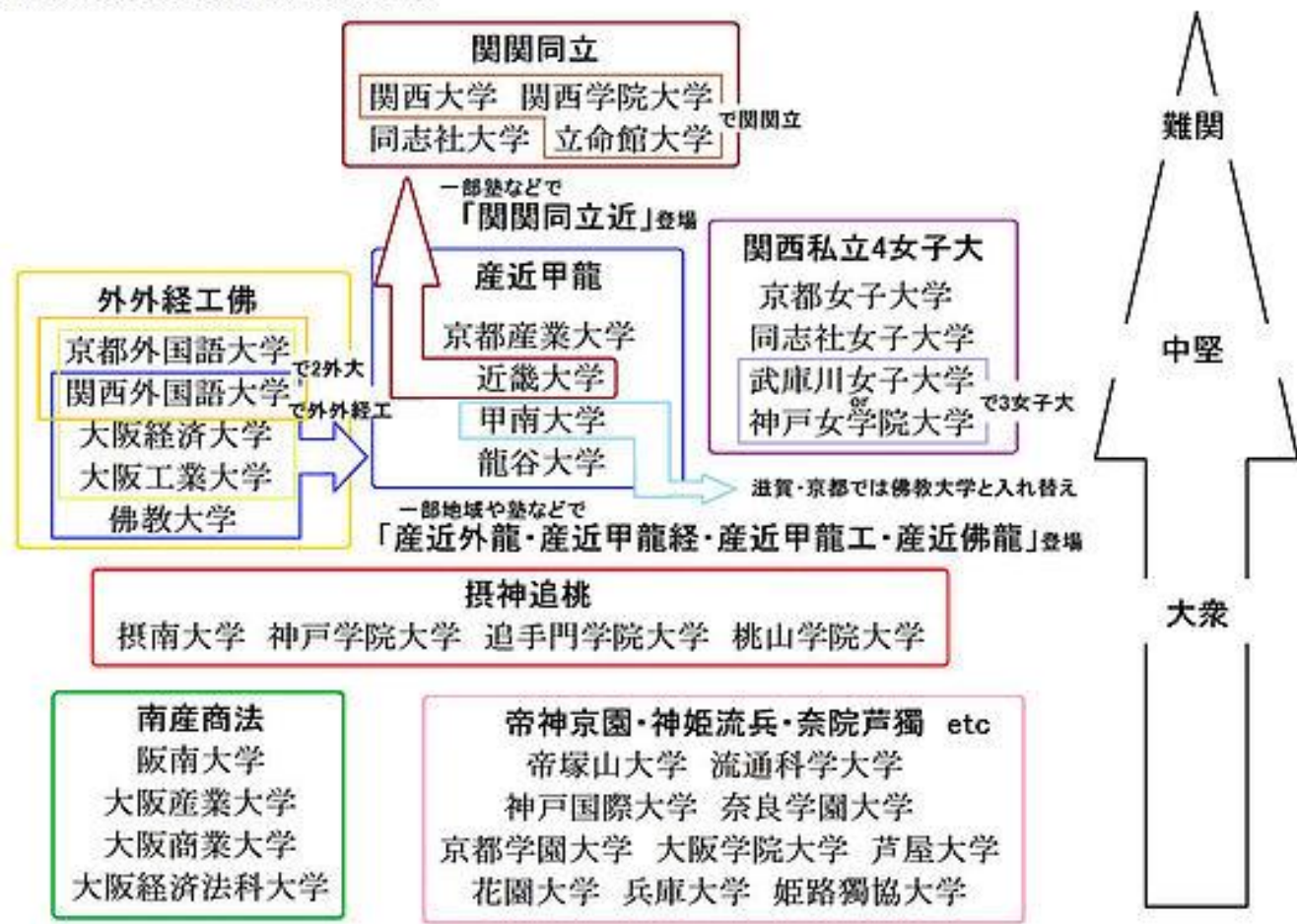
Q. 個性、特性が明確化すれば、大学は自主性を取り戻せるのか？自律性を高めることができるのか？

その結果、教育研究の「質」は高まるのか？



私立大学の評価指標としての「入学定員充足率」  
(1990年 1.23 → 2014年 1.04 + 格差拡大)  
+ 入学定員の実質化 (1.20超過で助成金カット)  
(その他、大学内部での細かな数字調整)

2018年度 関西私大・大学群構図  
(※序列は今後変わる可能性あり。)



関西私大ランキン  
グ・大学群一覧  
(2018年度版)

## 2019.3.23. 関西国際と神戸山手 2大学20年春統合へ

関西国際大（兵庫県三木市、学生数約2050人）と神戸山手大（神戸市中央区、同約620人）が2020年4月、統合する。両大学の学校法人理事長が22日、発表した。文部科学相の諮問機関・中央教育審議会が18歳人口の急減を見越した昨秋の答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」の中で「私立大学の学部単位等での事業譲渡の円滑化」を提唱していて、文科省によると、この答申に沿って進められた私立大合併の第1号となる。両理事長らによると、学校法人神戸山手学園が運営する神戸山手女子中学・高

### 「18歳減少」答申に沿って初

校の入学者減少が続き、昨年2月、中高の経営支援を巡る検討が法人間で始まった。文科省も協議に加わり、法人全体の合併を検討することになったという。

背景に、18歳人口の減少がある。中教審によると、1992年の約205万人をピークに減少が続き、現在は約118万人。2040年には88万人になると予想される。

計画では、20年4月1日に神戸山手大が唯一設置している現代社会学部を関西国際大に譲渡し、翌日、関西国際大を運営する学校法人濱名学院が存続法人となる形で合併する。

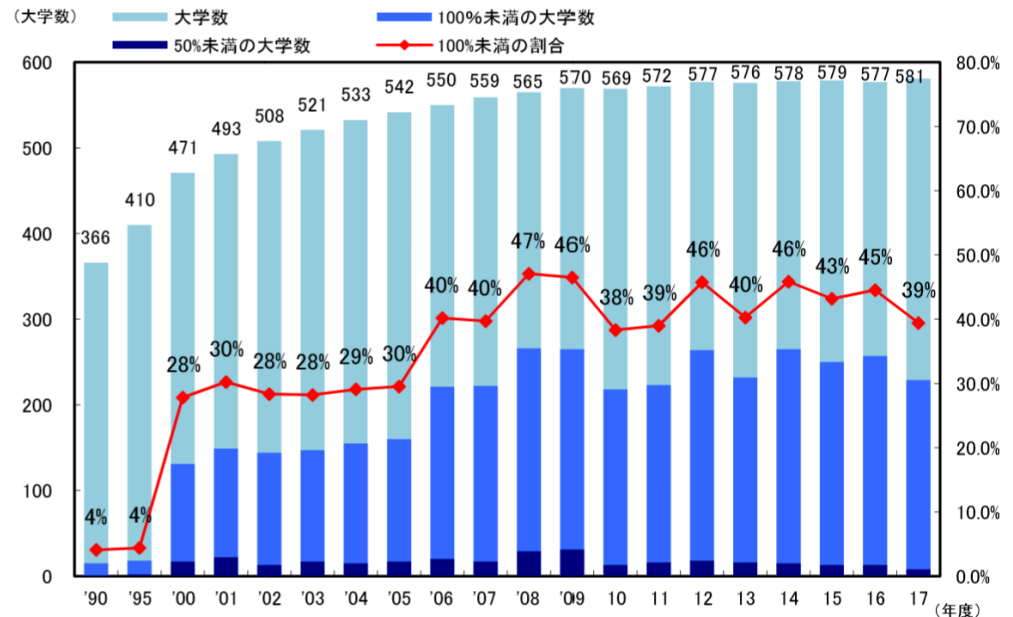
文科省によると、これまで合併する際には学部の新設と廃止をセットですることが一般的だった。しかし、認可まで通常1年近くかかる。学部譲渡は手続きが大幅に簡略化できるという。（西見誠一）

←大学の個性・特性とどう関係しているのか？

個性・特性を強調すれば改善されるのか？

河合塾「私立大の定員割れ  
大学数は減少」2017年度  
入試情報(2017年8月7日)

【グラフ3】私立大 定員割れ学校数の推移



# →「建学の精神」は私立大学の個性、特性、自立性をどう支えているか？そもそも、「建学の精神」は個性、なのか？

|    |          |                                                                                                                                                                                                                                                                   |                     |
|----|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 40 | 日本医療科学大学 | 報恩感謝                                                                                                                                                                                                                                                              | <a href="#">リンク</a> |
| 41 | 日本工業大学   | 1.真理の探究に努めるとともに、工学理論を現場の技術に直結しうる能力をもつ高級科学技術者を育成する。2.実習、製図など工業高等学校卒業程度の技術的能力を備えた人材を集め、それら知識の延長においてさらに高度の技術教育を行う。3.世界各国の先進技術の摂取、発展途上国への技術伝播を行うとともにわが国工業技術の高度化に資しうる有為な人材を育成する。4.産学協同の理念に基づき、現実社会との連携を密にし、その発展に寄与する。5.単に技術教育に偏することなく、広い世界観と堅実な思想をもち、建設的で実践的な社会人を育成する。 | <a href="#">リンク</a> |
| 42 | 日本保健医療大学 | 人間性の高揚、共存共栄の精神                                                                                                                                                                                                                                                    | <a href="#">リンク</a> |
| 43 | 日本薬科大学   | 個性の伸展による人生練磨                                                                                                                                                                                                                                                      | <a href="#">リンク</a> |
| 44 | 人間総合科学大学 | 人間理解に基づく「自立と共生」の涵養と「創造性と人間性」の育成                                                                                                                                                                                                                                   | <a href="#">リンク</a> |
| 45 | 文教大学     | 人間愛                                                                                                                                                                                                                                                               | <a href="#">リンク</a> |
| 46 | 平成国際大学   | 人間是宝                                                                                                                                                                                                                                                              | <a href="#">リンク</a> |
| 47 | 武蔵野音楽大学  | 〈和〉のこころ                                                                                                                                                                                                                                                           | <a href="#">リンク</a> |
| 48 | 武蔵野学院大学  | 「報恩感謝の精神」「婦人の真使命の確立」                                                                                                                                                                                                                                              | <a href="#">リンク</a> |
|    |          | 社会性、創造性、合理性を身につけ、広く国際社会に貢献する                                                                                                                                                                                                                                      |                     |

|     |            |                                                                |                     |
|-----|------------|----------------------------------------------------------------|---------------------|
| 90  | 大手前大学      | STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）                                | <a href="#">リンク</a> |
| 91  | 関西看護医療大学   | 一隅を照らす                                                         | <a href="#">リンク</a> |
| 92  | 関西国際大学     | 以愛為園（愛を以て園と為す）                                                 | <a href="#">リンク</a> |
| 93  | 関西福祉大学     | 「人間平等」「個性尊重」「和と感謝」                                             | <a href="#">リンク</a> |
| 94  | 関西学院大学     | 教育基本法及び学校教育法に従いキリスト教主義に基づいて教育を施す                               | <a href="#">リンク</a> |
| 95  | 姫路大学       | 教育の目的は、人に愛される人、人に信・頼される人、人に尊敬される人を育成することにある                    | <a href="#">リンク</a> |
| 96  | 甲子園大学      | 「勤勉努力」「和衷協同」「至誠一貫」                                             | <a href="#">リンク</a> |
| 97  | 甲南大学       | 「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育の率先」、「世界に通用する紳士・淑女たれ」 | <a href="#">リンク</a> |
| 98  | 甲南女子大学     | まことの人間をつくる                                                     | <a href="#">リンク</a> |
| 99  | 神戸医療福祉大学   | 個性の伸展による人生練磨                                                   | <a href="#">リンク</a> |
| 100 | 神戸海星女子学院大学 | 真理と愛に生きるというキリスト教的価値観に基づき、人を支え、社会に奉仕する女性の育成                     | <a href="#">リンク</a> |
| 101 | 神戸学院大学     | 真理愛好・個性尊重                                                      | <a href="#">リンク</a> |
| 102 | 神戸芸術工科大学   | 世に役立つ人物の養成                                                     | <a href="#">リンク</a> |

「大学教員のメモランダム」  
というブログ



甲南学園の建学の理念（創設者 平生釼三郎の教育理念）  
「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させる」 「人物教育の率先」「協働互助」  
「個性を尊重し、自主自立の精神を養う」 「徳・体・知」  
「世界に通用する紳士・淑女たれ」

➡建学の精神は改革の「矛」や「盾」になっているのか？

教職員の評価疲れ / 委員会数増加・カタカナ多用・遅い開始時間/  
学内説得、「改革」を進める執行部の苦労（膨大な資料作成）

評価の緻密化、ポイント制導入による数値化に対する「冷笑とあきらめ」

例 Learning Supportの資格化・点数化・3つの級別化

多様な学生支援のあり方を無視した評価基準の平準化

（＝学生たちの善意の数値化、等級化） への違和感

違和感がありながら、「上がもう決めたから」と発言を自分で封じる教職員

【E企画力とF課題解決力の具体例】

- E①：LA報告書から予習をする必要性を考え「予習勉強会」を企画。E企画力に関しては「企画案」を提出すること  
E②：高校生を対象としたグループワーク授業や神戸市などから依頼された課題解決ワークでのLSを企画  
E③：他大学のLS先進事例との交流イベントや学習支援の専門家との勉強会の企画  
F②：学内各部局でのLSとLAの経験交流イベントの企画

【3級の「行動力」に関するモデルケース】

1. 「ベーシックキャリアデザイン」などでのLA<90分×10回⇒40点>、LS・LAミーティングへの出席<2回⇒5点>、オープンキャンパスでの学びのサポート<40分×3回⇒6点>。合計51点
2. 「〇〇実験」でのLA<90分×2コマ×6回⇒上限で40点>、LS・LAミーティングへの出席<1回⇒3点>、オープンキャンパスでの学びのサポート<40分×4回⇒8点>。合計51点
3. 経済学部またはマネジメント創造学部での入学前スクーリングでのLS<21点×2回⇒上限で40点>、LS・LAミーティングへの出席<2回⇒5点>、障がい学生支援ボランティア<30分×5回⇒5点>。合計50点



# 大学という場の原点に戻るしかない

①教員から奪われているのは何よりも教育研究のための時間であることを、もっとアピールできないか？

→教育研究の本質とは的外れの議論はどこでされているのか？

②今の学生たちに「考える/知っておく」ことが大切だという「知の原資」を提供するにはどうすればいいか？

→学生も教員も、**ゾワゾワ**、**ザワザワ**を感じることから「気づき」も「対話」も始まる

③「研究力低下」という言説で示されているものとは？

→学生にも研究者にも、大切なことは研究・探究する**ワクワク感**。そのために、評価のプロセスに「失敗しても構わない」という懐の深さこそ持つべき。

④大学に自主性、自律性が何よりも必要であることをどう説明すればいいか？

→大学への「信頼」を回復する道筋は・・・。

# ①から④の「言語化」ではないか？

人文・社会科学系教員、研究者の役割は大きい。



千葉にあるたらちね国際大学情報総合学部日本文化学科  
に属するクワコーこと桑潟幸一准教授

ご清聴ありがとうございました。